

授業概要

本授業は、最広義に理解されるスポーツ（気晴らし、遊びを含む）について、スポーツと文化、スポーツと社会との関係性から講義する。特に現代スポーツの諸問題に焦点を当て、現代スポーツの成り立ちから社会におけるスポーツのあり方についても視野を広げていく。

授業計画

第1回	ガイダンスとスポーツ文化の視点
第2回	近代以前のスポーツと近代スポーツ
第3回	体育とスポーツ
第4回	スポーツとナショナリズム
第5回	グローバル化するスポーツ
第6回	消費文化としてのスポーツ
第7回	スポーツ・ファンの文化
第8回	アンチ・ドーピング活動の動向
第9回	スポーツとドーピング①（ドーピング問題と社会との関係について）
第10回	スポーツとドーピング②（スポーツにおけるフェアとアンフェアについて）
第11回	生涯スポーツ社会とスポーツ振興
第12回	スポーツ教育とスポーツ振興施策
第13回	支えるスポーツ
第14回	現代スポーツが抱える問題とスポーツの可能性
第15回	まとめ
第16回	筆記試験

到達目標

社会との関係性からスポーツを捉えることで、スポーツが社会的に構成される文化であることを理解する。さらに、現代スポーツの諸問題に目を向け考察を深めることで、今後のスポーツのあり方や可能性を自発的に見出すことを目標とする。

履修上の注意

授業のはじめに、一人一枚リアクションペーパーを配布します。
リアクションペーパー配布までに間に合わなかった場合、平常点は加算されませんが、講義の聴講は可とします。

予習復習

各回の予習・復習には、予習90分、復習90分かかると想定されます。

評価方法

学期末試験：80% 筆記試験を行い、理解度の確認を行う。
授業内レポート：20% 毎回の授業の理解度の確認のために、リアクションペーパーを提出してもらう。

テキスト

よくわかるスポーツ文化論 井上 俊・菊 幸一編著（ミネルヴァ書房）

参考文献：スポーツ文化を学ぶ人のために 井上 俊・亀山 佳明（世界思想社）